

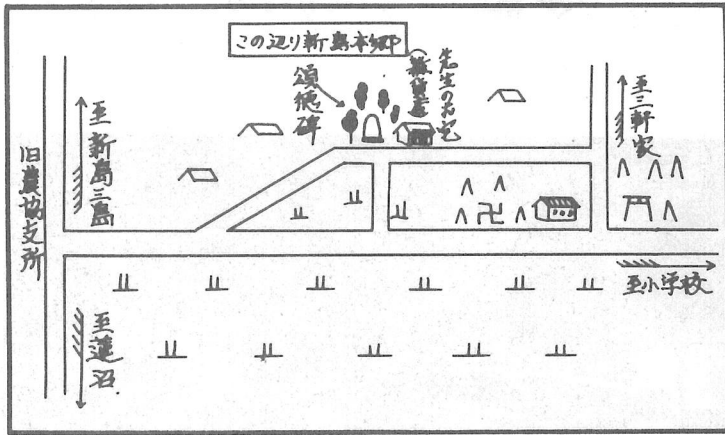
横芝の碑 (その十一)

電害の村の再起に献身

「林義朗先生の碑を知っていますか」と新島のI氏に聞かれました。「上堺小学校の二代目校長さんですね。新島に住んでおられたとか。」そうです。でも先生はそれだけの人ではないんです。昔上堺

村に大きな電がふり、農作物が大被害を受けて村全体が貧乏のどん底に落ちて高等科(昔の小学校は尋常科と高等科に別れていました)を廃止したことがありました。その頃先生は他の村に勤めていたの

ですが村の人達の要望で上堺村に帰り、村長さんや校長先生を扶けて高等科再建に尽力され、遂にこれを実現されたのです。当時上堺村に比べて遙か豊かな村で数少ない正教員として大切にされながら勤めていた先生が、俸給も欠配がち、しかも既に高等科が廃止されている小学校に戻って来たということ、決心以外は何もなかったと思えます。やがて高等科が復活されると共に村では先生を二代目校長に抜擢して、その功労に応えた訳です。



確か其後も又校長さんをやつていただきますよ。I氏の熱心な説明にひかれたのと、上堺村電害による教育の危機という話も聞いていましたので「電害の時の先生が林先生ですか、もうすこし詳しく話してくれませんか」とたずねますと「それじゃあ碑のある所へ案内しますよ。その裏に細かく刻り付けてありますからそれを読んで下さい」いいながらI氏が案内してくれました。表通りからの視界を避けるように簡素な竹垣と庭木に囲まれて慎ましやかに建っているのがその碑でした。お店は先生のお宅で「人目につかない自宅の庭に」という先生の切なる要望でここに建てられたということです。

写真はその碑で表には
林 義朗先生頌徳碑
千葉県知事 柴田・等書
と見事な行書体で刻まれ、その背面には
明治大正ヲ通シテ千葉県教育界ニ
偉材ヲ索ムル、先ズ恩師林義朗先
生ニ指ヲ屈ス、蓋シ先生ノ教育ニ
対スル視野ノ広キ蕩蘊ノ深キ而モ
情操ノ豊カナル洵ニ師表ノ典型ニ
シテ教壇ヲ風靡ス、先生ハ明治十
七年十月六日匝瑳郡白浜村木戸ノ
素封家椎名徳藏氏ノ次男ニ生レ明
治三十七年山武郡上堺村新島ノ名
門林家ヲ嗣グ、幼少ヨリ叡智衆ニ
逸レ小学校ノ課程ヲ卒ル、以育英

ノ道ニ志シ独学力行十八才ニシテ
小学校本科正教員ノ検定試験ニ合
格シ、明治卅四年匝瑳郡豊栄小学
校ニ 職ヲ奉ス、偶々明治卅六年
電害ノ惨ハ上堺村行政ニ暗雲ヲ投
シ村立高等小学校ハ廃止セラレ私
立経営トナリ悲運校門ヲ敲ク、明
治卅九年母校ニ昭セラレルヤ先覚
者古滝菊治郎先生ノ素志ヲ継ギ内
容ノ強化ト村立移管ニ懸望シ明治
四十一年之レガ復活ヲ実現シ、抜
擢セラレテ校長ノ要職ニ就ク、既
ニ使徒タルヲ誓ウ、先生ノ博愛ノ
精神ハ子弟尊敬ノ的トナリ謙讓ノ
美德ハ克ク学内ヲ醇化シソノ行蔵
ノ正明ナル郷人等シク之ヲ好ム所
トナル、母校ノ校長タルコトハ六
年枚挙ニ遑ナキ功績上堺村教育史
上燦トシテ光芒ヲ放ツ、昭和六年
退職後村政ニ産業ニ幾多ノ治績ヲ
残サレシ先生ノ今一齡古希ニ達セ
ラルルニ尚健在悠々自適讀書三昧
セラレツツ我々門下生並ニ有志ハ
不朽ノ人恩師林先生ノ偉業ヲ讃エ
德行ヲ慕フノ余リ相倚リテ茲ニ頌
徳ノ碑ヲ建ツ
昭和三十一年文化の日
門下生外有志一同
としてあります。
(給食センター小沢所長寄稿)

